



恋人の聖地に認定 愛隣館 (04/26)

Ads by Google

▶ 温泉

▶ 花巻

▶ 花巻宿

▶ 岩手県



花巻市鉛の新鉛温泉「結びの宿 愛隣館」(清水俊明社長)が、NPO法人地域活性化支援センター(静岡県、志垣恭平理事長)の「恋人の聖地サテライト」に県内で初めて認定された。大自然の中にある一軒宿として、カップル向けに思い出づくり旅のプランやプライダルを提供しているほか、施設周りの遊歩道内に「しあわせのベンチ」を配置

するなど、ロマンチックな演出が高い評価を受けたもので、同館では「誘客と合わせ地域活性化に結び付けていきたい」と認定を喜んでいる。

同館は花巻南温泉峡を構成する八つの温泉の中で、最も西に位置する。県道と豊沢川の間、鉄筋コンクリート造り8階建ての本館があり、客室104室、宿泊収容人員は623人。館内には内湯、露天合わせて計17もの温泉浴場があるほか、川を挟んだ向かいに3万5000坪の大自然庭園が広がる。しあわせのベンチのほか、屋外結婚式場、遊歩道、バーベキュー広場などがあり、宿泊客が緑豊かな自然を満喫しながら散策できる。

恋人の聖地は、地域活性化支援センターが少子化対策と地域活性化への貢献をテーマに、2006年から展開しているプロジェクト。全国の観光地の中から、プロポーズにふさわしいロマンチックなスポット118カ所を「恋人の聖地」として選定。県内では遠野市のJR釜石線のめがね橋、岩手町の石神の丘美術館が選ばれている。

同館が認定されたサテライトは、プロジェクトの趣旨に賛同した一般企業、団体が運営管理する施設が対象で、通常の事業活動(営業)との連携が可能なのが選定基準。同館を含め全国で32カ所が認定されており、東北では秋田県の施設と二つだけ。同館では名称の「結びの宿」にもあるように、カップル、夫婦に思い出の場、仲を深める水入らずの場を提供し、旅行企画を通して地域活性化にも貢献している。

同館へのサテライト認定証授与式は5月30日、東京の六本木ヒルズで行われるが、今月24日には一足早く施設に掲示する認定プレートが届いた。同館専務の清水隆太郎さん(37)は「プレートを館内に掲示し、恋人の聖地としての活動を広く紹介し、地域活性化に向けて取り組んでいきたい」と、今後の活動に意欲を見せていた。

【写真】恋人の聖地サテライトプレートを手を認定を喜ぶ清水専務(左)と従業員